

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	野尻小校区	担当班	議員名	担当
参加人数	21人（男性16人 女性5人）		坂下 春則	司会進行
開催日	平成29年 7月12日（水）		蔵本 茂弘	活動報告
開催時間	午後7時～午後8時8分		原 勝信	記録・報告書作成
会場	野尻庁舎		時任 隆一	音響
その他			吉藤 洋子	受付
		2班		

◎班代表者 蔵本 茂弘

意見交換会の内容		※□市民の意見 ■議員の意見
統一テーマ	「地域交通について」・「空き家活用について」	
<p>【意見交換の概要】</p> <p>「地域交通について」</p> <p>□福祉バスは20～30人乗りで大きい。10人乗り位にすれば2台位運用できるし、時間にも余裕がでて1日2回ぐらい運行ができる。車体が10人乗り位だと細い道まで入れて利用者が増えると思うが。</p> <p>■どこの地域も同じ状況であり小林小校区でも同じ意見が出ている。議会全体で議論を深め、地域の意見を伝えていく。</p> <p>□停留所までの交通手段がない。タクシーと福祉バスとの2本立てなどの方法はできないか。</p> <p>■行政は3月に地域公共交通網形成計画を策定したが、ニーズが多いのは買い物と病院である。意見を十分に聴取しながら議会全体で議論を深めていきたい。</p> <p>□日中、若い人たちは仕事に行っており、高齢者だけの状態になる。移動手段として何か手立てがないのか、という意見も聞くが、タクシー券の条件緩和など検討できないか。</p> <p>■タクシー券の助成は、年間900万円助成しており財政負担も大きくなることが予想される。議会全体で議論を深めていきたい。</p> <p>「空き家活用について」</p> <p>□金銭的な問題もあるが、若者は「きれいになるならリフォームでもいい」という意見も聞くが。</p> <p>■若い人達で経費の掛からない、また所得の面でも「きれいになるなら空き家でもいい」という意見も聞いている。議会全体で議論を深め、提案につなげていく。</p> <p>□野尻中央病院や中小企業の方、また宮崎市・都城市から通っている人も非常に多い。空き家の活用はどんどん推進してほしいが、「野尻で空き家がない」と言われる。貸す方も</p>		

気楽に貸せるような、対策はないか。

□野尻地区の場合は空き家活用よりも、空き家対策が問題となっている。台風等で倒壊の危険性のある防災上の問題、雑草やゴミ等の衛生上の問題、泥棒等防犯上の問題など活用と同様に重要な問題であるが。

■議会全体で議論を深めていきたい。

□野尻中央病院周辺に空き店舗が10軒以上あり、住んではいるが店舗のスペースが空いている。定住してきた方が仕事を継ぐなどできる空き店舗バンクも必要だと思うが。

■小林市の中心部には空き店舗活用事業がある。須木地区や野尻地区の中心部は空き店舗活用事業には該当しない。議会全体で議論を深めていきたい。

自由意見の交換

※□市民の意見 ■議員の意見

□児童クラブは今年20人の定数で27人の申込みがあったが、来年も定数を超すと大変である。もし幼稚園と保育園が一緒になれば幼稚園の場所が空くのでクラブにそこを貸していただければ、待機児童はいなくなるが。

■年によって希望者の増減がある。予測は難しいが、定員を超えることが続けば、当然予算措置も必要である。委員会審査を通して十分議論し、予算を含め改善点を提案していく。

□産婦人科・小児科問題の根本的なネックは何か。市長や議員も努力しているがなかなか来て頂けない。医者が本当にいないのか、数や賃金の問題なのか。

■産婦人科は24時間365日の重労働であり、小児科は少子化や、夜中の急患が多い点から希望者が少ない。小林市の公立病院を他と比べても医師の待遇は悪くないし、まちの魅力がないからという事でもない。議会全体で議論を深めていきたい。

◎小林市立病院での産婦人科（分娩）再開について

意見交換会では、小児科・産婦人科の充実を求める意見が各地区で出されました。その後、西諸出身の医師を中心とし、宮大医学部産婦人科の支援のもと、平成28年7月から小林市立病院での産婦人科（分娩）を再開する運びとなりました。また、9月定例会では、妊婦等に対し通院にかかる交通費として妊娠1回につき2万円交付する予算が可決されました。

議会活動報告への意見

※□市民の意見 ■議員の意見

特になし